

愛媛県理学療法士会 理学療法士講習会応用編 WEB 開催

セミナー番号：115457

講義番号：242007

臨床家のための具体的手法 ～臨床研究のブラッシュアップを目指して～

講習会内容

<内容>本講習会では、臨床で研究をすすめるために必要な知識について学びます。また、臨床実践や管理業務に活用できる統計解析について学習します。本研修会では、経験や知識に応じて、①Aグループ：自身の研究課題のブラッシュアップ、②Bグループ：統計に関する疑問の解決、③Cグループ：臨床研究のスタートと臨床データの活用方法についての3グループに分かれて演習を行います。これから研究を行ってみようと考えている方から自身の研究をブラッシュアップしたい方まで、明日から臨床応用できるような研修会を目指します。本講習会は、通常の講義に加え、複数の講師が助手となって演習をサポートする「ハンズオン」タイプの講習会です。

日時：2023年11月4日（土曜日）

受付 8:30～ 講義 9:00～17:30

講義形式：ZoomによるWEB開催

問い合わせ先：放射線第一病院 森川真也

メール：housyasendaiichi@yahoo.co.jp

TELL：0898-23-3358

【講義内容】

(午前) 1コマ目～3コマ目は全体で講義・演習を行います。

1コマ目：研究ための基礎知識の整理 9:00～10:00

講師：森川真也（放射線第一病院）

- 1) 臨床疑問を研究疑問へ
PECO/PICOを用いた疑問の整理
- 2) 研究の方法論について（対象・バイアス等）
- 3) 臨床研究のデザインや位置づけについて

2コマ目：統計解析に関する基礎知識の整理 10:10～11:10

講師：尾藤貴宣（岐阜大学医学部附属病院）

- 1) 統計用語とデータの尺度について
- 2) データの特性値について
- 3) 標準値の重要性和臨床応用（疾患毎・重症度毎・性別毎など）
- 4) 基本統計（再現性・相関・差の検定など）について

3 コマ目：臨床における研究の実際 11：20～12：20

講師：山科俊輔（平病院）

- 1) 臨床研究における苦勞について
- 2) 差があるとはどのような状態か（MCID について）
- 3) 介入研究とはどのようなものか

（午後）4 コマ目・5 コマ目は、グループに分かれての講義・演習を行います。

※申し込み後に希望グループをお伺いいたします。

A グループ これまでの研究のブラッシュアップを中心に 13：20～17：00

講師：玉利光太郎（平成帝京大学）・田中亮（広島大学大学院）

- ・これまでの研究や学会発表から論文作成へ向けた講義・演習を実施する。
 - 1) 論文チェックリストの紹介
 - 2) EQUATOR と各種研究デザインごとのガイドラインの紹介
 - 3) 論文チェックリストを使った確認
 - 4) 論文執筆のためのテクニカルライティング
 - 5) 査読者とのやり取り
 - 6) 各参加者からの質問と全体ディスカッション

※A グループではこれまでの研究や考案中の研究を基に研究のブラッシュアップを行います。

そこで、A グループ用事前テンプレートをご記入の上、これまでの学会抄録や研究計画書等を添付資料としてお送りください。（参加グループが確定後事前テンプレートを送付いたします。）

B グループ 統計手法の疑問を中心に 13：20～17：00

講師：伊藤秀幸（宝塚医療大学）・尾藤貴宣（岐阜大学医学部附属病院）

・受講者の研究計画を基に統計の具体的な手法を中心にデータ解析や方法論について講義・演習を実施する。

- 1) R コマンダーの基本操作
- 2) R コマンダーを用いた統計解析の実際（単変量解析を中心に）
- 3) 研究計画に基づく統計解析の実際

※B グループでは統計ソフト R コマンダーを使用します。

受講日までにご自身のパソコンにインストールをお願いします。

インストール先、インストー方法はこちらの URL でご確認ください。

変更 R コマンドー <https://personal.hs.hirosaki-u.ac.jp/pteiki/research/stat/R/>

※ 10月31日までに添付の B グループ用事前テンプレートをご記入の上、メールにて返信ください。(参加グループが確定後事前テンプレートを送付いたします。)

C グループ 研究の取り組み方と臨床データの活用方法を中心に 13:20～17:00

講師：山科俊輔（平病院）・田中繁治（神奈川県立保健福祉大学）

森川真也（放射線第一病院）

・これから研究に取り組むため、あるいは臨床疑問を研究に結び付けるために必要な知識についての講義・演習を実施する。

1) 臨床疑問から研究疑問への具体的な続き（PICO PECO からの進め方）

2) 研究疑問を価値のある研究にするために（FINER を用いた）グループディスカッション

3) 論文の検索方法と臨床データの使い方

全体での質疑応答 17:00～17:30

終了 17:30